

<b>国際経営</b>		<b>王 効平</b>	
-------------	--	-------------	--

配当年次	1 年次	配当学期	1 学期	科目区分	アドバンスト
単位数	2 単位	必修・選択	選 択	授業形態	講 義

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標  
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標
知識・理解	理論知識	◎ 国際経営の理解に必要な理論的専門知識を修得する。
	実践知識	
技能	分析解決技能	○ 国際経営に関わる諸問題を体系的に理解し、自ら課題を発見してその分析と解決策の提示ができる。
	実務技能	
	新規事業技能	△ 国際的に新事業を展開するに必要とされる技能を修得する。
態度	倫理観態度	
	企業変革態度	○ 国際経営を遂行するにあたって必要とされる挑戦的姿勢と変革する能力を修得する。
	地域リーダー態度	
	国際協調態度	○ 国際経営を遂行するにあたって必要とされる相互理解の態度と協調的姿勢を修得する。
※ ◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連		国際経営
※ 2013年度以降入学生が対象です。		

### 授業の概要

国際経営（経営のグローバル化）に関する広い視野と深い洞察力、特に企業の国際事業戦略に関する専門知識やノウハウの取得を目的とする。講義内容は大きく3部構成とする。第1部では国際経営の基礎概念、代表的な学説を概説した上、関係統計を通じて経営国際化進展の全体像を掴む。第2部では、経営国際化に関わる戦略的な側面を中心に学ぶ。第3部ではケーススタディを行い、討論を通じて全体内容に対する理解を深めていく。自ら開発したケース教材を使用すると共に、国際ビジネスの現場経験を有する経営者または専門家をゲストに迎える予定。毎年受講生のバックグラウンドに大きなばらつきがあることに鑑み、初講義時に意見聴取やアンケートによる確認を行った上、3～4人単位のグループ分けを行う。

### 教科書

プリント配布予定

### 参考書

亀井正義著 『企業国際化の理論』 中央経済社  
湯沢威他著 『国際競争力の経営史』 有斐閣  
吉原英樹編著 『国際経営論への招待』 ミネルブア書房  
経済産業省編 『通商白書』（各年版）  
JETRO 編 『世界貿易投資白書』（各年版）

### 授業計画・内容

- 第1回 イントロダクション：講義の狙い、内容構成と進め方の説明
- 第2回 「経営国際化」、「多国籍企業」とは【企業の国籍】
- 第3回 多国籍企業の誕生、発展段階【株式会社誕生起源説】【6段階説】【4類型化】
- 第4回 企業の多国籍化の誘因【貿易摩擦回避型】【原価削減型】【PLC説】【資本余剰説】
- 第5回 基本統計の解説【国際収支ベース】【対外・対内直接投資】【グローバル企業ランキング】
- 第6回 多国籍企業の所有戦略【持ち分型】【非持ち分型】【技術供与契約方式】
- 第7回 渉外租税規制強化の動向【実効法人税率】【OECDの勧告】
- 第8回 多国籍企業の租税戦略【RHQ】【タックスヘイブン】【移転価格】
- 第9回 日系企業経営現地化の課題と挑戦【意思決定権限】【人事】【技術・ノウハウの移転】
- 第10回 日系企業に関する現地調査報告
- 第11回 ケーススタディⅠ（日系多国籍企業のケース）
- 第12回 グループ討議
- 第13回 ケーススタディⅡ（東アジア系多国籍企業のケース）
- 第14回 グループ討議
- 第15回 グループプレゼンテーション

成績評価の方法	課題レポート 50% 討論への貢献度 50%
事前・事後学習の内容	* 数回必読資料を配布予定 * 学習支援フォルダーにレジメや参考資料を掲載する予定で、事前学習をしておくこと * 数回レポートを課し、評価して返送するが、評価コメントを吟味すること
履修上の注意	紹介資料、配布資料を熟読すること 課題提出時間の厳守
担当者からのメッセージ	講義中にいつでも自由に質疑・発言する心掛けを！ 自分の個性・強みをフルに出して下さい！
キーワード	